

編集後記

■ 編集委員

飯森眞喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
山崎 晃資

(ABC 順)

本誌ではオピニオンとして「認知症疾患医療センターをめぐる」を、特集として「成人期のアスペルガー症候群Ⅱ」を取り上げた。

後者は前号に続いての特集で、最近ではアスペルガー症候群がかなり広義に解釈されて診断される傾向があり、この際この症候群を正しく理解してもらおうという編集委員会での話題から、この特集が組まれたものである。

「認知症疾患医療センター」については、まだ聞きなれない読者が多いのではないと思うが、今年度初めに厚生労働省から都道府県に通知されたもので、厚生労働省は地域の認知症医療の基幹となるセンターを期待して今年度中に 150 か所設置する予定である。

認知症問題はマスコミでもしばしば取り上げられ、NHK でも「認知症キャンペーン」として各地で認知症フォーラムを開催したり、テレビやラジオでもよく放映され、ますます一般の人たちの間でも関心が高まり、大きな社会問題となっている。最近では特に医療と福祉の連携、医療の中でもかかりつけ医・サポート医・専門医の連携が重視され、それを推進することもこの認知症疾患医療センターの重要な機能の 1 つとして期待されている。1990 年から進められてきた「老人性痴呆(認知症)疾患センター」が期待されるほどの役割を果たしてこなかったために国の援助が打ち切られた経緯を考慮すると、今回のこのセンターが同じような経緯をたどらないように、期待される成果を上げなければならないと思う。そのセンターの規定の中にも記載されているが、認知症の専門医が果たさなければならない役割は多く、その専門性が評価されることになる。老年精神医学会の専門医は現在 804 人しかいない。2000 年から専門医制を発足してまだこれだけである。認知症学会も、今年度から専門医制がとられるようになったが、それほど多くなることは期待しにくい。今年の老年精神医学会(前田潔会長)では若手の精神科医にもっと老年の精神障害に関心を持ってもらうようにシンポジウムが組まれた。このオピニオンを組んだのも、多くの精神科医にこのセンターの重要性を理解し、そのセンターにかかわってもらいたいという願いを込めてであることを理解していただければ幸いである。

(K.K.)

精神医学 (第 50 巻 第 8 号)

2008 年 8 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2008 年年ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。